

図書館だより

2025年
8月

❀ もうすぐ2学期が始まります。❀

まだまだ暑い日が続いていますが、天高生のみなさん、お元気ですか？天高図書館も館内の特別清掃、蔵書点検が終わり、皆さんの来館を今か、今かとお待ちしています。今月は、この夏・秋公開の映画の原作を紹介します。

1年生図書委員からの「押し本④」を紹介します。新学期、図書館に来て、手に取ってください。お待ちしております。

ポプラ社主催の「第8回全国学校図書館POPコンテスト」(締切11月30日)に参加しませんか。参加してみたいという人は、新学期になりましたら、図書館カウンターで、たずねてください。詳しくはこちらのHPをみてください。



<https://www.poplar.co.jp/schoolLibrary/pop-contest/>



この夏・秋公開の映画原作本 を紹介します！！

『風のマジム』 原田マハ著 講談社

ほんとうにあった夢物語契約社員から女社長に——実話を基に描いたサクセス・ストーリー。琉球アイコム沖縄支店総務部勤務、28歳。純沖縄産のラム酒を造るという夢は叶うか！風の酒を造りたい！まじむの事業計画は南大東島のサトウキビを使って、島の中でアグリコール・ラムを造るというものだ。持ち前の体当たり精神で島に渡り、工場には飛行場の跡地を借り受け、伝説の醸造家を口説き落として——。(講談社HPより)

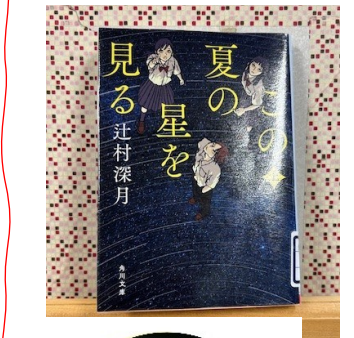
朝ドラ『虎に翼』で、誰もが知る俳優となった伊藤沙莉さんが主演。9月12日全国公開。



図書委員からの「押し本」④

『流浪の月』 風良ゆう著 創元社

おすすめポイントは、文が誘拐犯として逮捕されそうな時に、文と更紗が必死に手をつないで離れないようにしていたシーンです。考えている事はお互い違うけど、「離れたくない」という気持ちは、同じだったところです。文は自分が警察に捕まる恐怖を感じながらも、更紗のためにその場にとどまる更紗への思いに感動しました。



『#真相をお話します』 結城真一郎著 新潮社

読んでいる中で、沢山の違和感や、読み返した時に気づく驚きの伏線は、様々な考察を促します。このような話が五編あり、読書するのに夢中になってしまう作品です。映画化(4月全国公開)されていて、今とても波に乗っている話題の作品です。ミステリー好きの方はもちろん、深い人間ドラマを求める読者にもおすすめです。



『エヴァーグリーン・ゲーム』 石井仁蔵著 ポプラ社

難病で入院生活を送る小学生。進学校でチェス部の実力者。全盲の少女。少年院でチェスを始めた男。この4人の若者がチェスに打ち込み、救われていく物語です。作品の中で、ルールや戦術が丁寧に描かれているので、知らない人でもチェスを理解することができます。「チェスが好き。」ただ、それだけでつながる人間関係は、私にとって、とても新鮮でした。

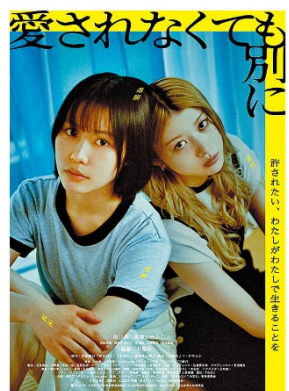


『宙わたる教室』 伊予原新著 文藝春秋

この本を通して「定時制」のリアルや科学の楽しさ、また部活のおもしろさや人間関係など、様々な事を知り、考えることができました。また、「自分の好きなこと」「自分の未来」を考えるきっかけにもなりましたし、未来をあきらめないということの大切さを知ることができました。今年度、上半期直木賞を受賞(『藍を継ぐ海』)し、大活躍の作家 伊予原新さんの小説をぜひ読んでみてください。



『愛されなくても別に』 武田綾乃著 講談社



遊ぶ時間？ そんなの無い。遊ぶ金？ そんなの、もったない。学費のため、家に月8万を入れるため、日夜バイトに明け暮れる大学生・宮田陽彩。浪費家の母を抱え、友達もおらず、ただひたすら精神をすり減らす。そんな宮田の日常は、傍若無人な同級生・江永雅と出会ったことで一変する！愛情は、すべてを帳消しにできる魔法なんかじゃない。息詰まる「現代」に風穴を開ける、「響け！ ユーフォニアム」シリーズ著者の会心作！(講談社HPより) 南沙良さん・馬場ふみかさんが主演。7月4日全国公開。

